

親から子へ、子から孫へ 「第11回ふるさと子ども伝承祭」

ふるさと子ども伝承祭が12月8日(日)、中央公民館にて開催されました。この事業は、町内の各地域や小学校において伝承芸能の継承活動を行っている団体が日頃の活動の成果を披露する場で、10団体が出演しました。また今年は、特別出演として大蔵村の合海田植踊りが出演、町内に無い芸能で、会場を魅了しました。

真室川町には多くの伝承芸能が残されていますが、継承し続けていくことは大変なことです。今後も守り続けていけるよう子ども達の発表の場を設けていきたいと思えます。



トップを飾った平枝少年番楽



及位の童歌

担任力育成推進プロジェクトについて

今年度、真室川中学校では、山形県教育委員会からの指定を受け、「教育山形『さんさん』プラン」による教育効果を活かした、「子ども同士が精一杯考え合い、表現し合う授業」づくりと、そのために必要とされる、教職員の「学習指導力」、「生徒指導力」、「特別支援教育力」が統合された「担任力」の向上を図り、日常的な授業改善を展開してきました。

山形大学教職大学院や最上教育事務所からの講師派遣を受け、昨年度から大幅に回数を増やした校内研究会を実施し、「担任力」の向上を進めてきましたが、今年度の取り組みを通じて生徒や教職員の様子にも大きな変化が見られ、学校及び教育委員会でも大きな成果を感じているところです。

11月28日に山形ビッグウィングで開催された実践報告会をもって、今年度開催される山形県全体での事業は一区切りとなりましたが、真室川町では、今後も今年度事業の成果と課題を踏まえた研究の継続や、小中連携事業を通じた各小学校との連携を進め、子どもたちの「学びの質」の向上に努めていきたいと考えておりますので、保護者や地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

